

# MASH NO.2



# 絵物語研究会

に参加しよう

マンガ 絵本  
なんか書いてみたい  
詩や物語に絵を  
つけてみたい  
そんな仲間が集まって  
出来たクラブです

九月には会誌がでていますが  
参加したい人は  
芸工大 環境1年 谷道哲也  
まで



## 【表紙】

ビートルズの有名なアルバム  
「アビーロード」の真似をして  
みました。撮影中に写真の右に  
写っているバスが1度止まって、  
我々を注目していたことを覚えて  
います。

カメラ 新屋健市

## マンネリ人間マンガ考

※第二回※ アニメうちあけ話

### BY 空才能=シゲ

この前の芸工大学園祭から、早ひと月になる。今思えば随分昔のことの様な気がするが、あのいかがわしい恐怖の日々は忘れようにも忘れられない記憶として、今もお脳裏に介在している。とにかく、想像を絶する学園祭であったのは確かだった。我々にとっては…。

君は見たか！SFアニメ。我がアニメーション愛好会は今年も恒例の「アニメーション&映画」の企画で自主制作アニメを公開した。今年はその3回目なので、メインに何かドバツと大作アニメを作ろうという訳で個人アニメの他に「宇宙大侵略者」という途方もない中編アニメ大作を制作するに至ったのだった！—この原稿はその制作における全責任を負うべき立場にあった—はずの—監督である「オレ」によって書かれたものである。

「宇宙大侵略者、こいつは誰が見たって完成品とは思えない。見ての通り、画面はチカチカそして露出不足、ラストの尻切れトンボ、バックミュージックもなげりゃ効果音もスタスタ、セリフはトチるし絵といっこともおうと

らん。だいたいがほとんど人物が動いてない！あれじゃ紙芝居と変わらない。あんまり書きよったら他のスタッフ達に申し訳ないが、残念ながらこの作品は、オレがコンテを書きながら想像していた奴の30%の完成度のものでしかなかったことは、オレも認めている。この原因は我々の経験不足もさることながら、監督であるこのオレの計画ミス、そして怠慢さからくることは隠せない事実だ。この点については、オレが全責任をもってこの作品を完全なものとし、必ずやいつの日か諸君らの前に「宇宙大侵略者」の全編を公開することを約束する、ということで納得してもらいたい。



それでもね、何やらかんやら言ってもね、オレ達は精一杯やってきたんだ。上映した時点ではあれだけのものしかできあがってはいなかったけれど、逆に実質2週間少しであれだけのものができたというのは、まさに驚くべき事であり、評価されるに値するはずだと思っている。そこの所をわかってもらうために、まあこの原稿を書いているという訳なのだ。

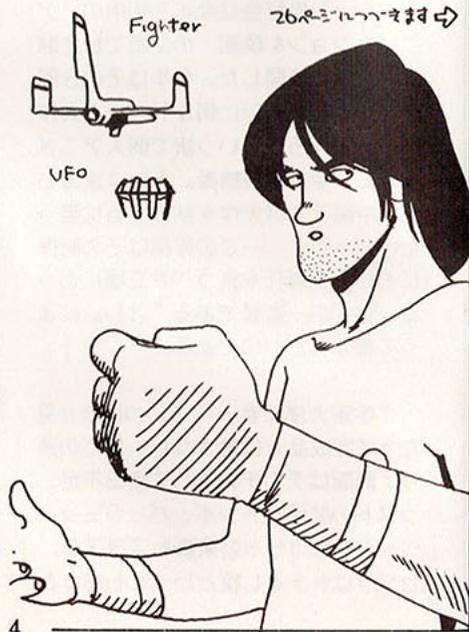
さて「宇宙大侵略者」の戦慄の制作過程を述べる前に、作画マンとしての立場からこの作品を解説しようと思う。

この作品におけるビジュアルな設定は、全てオレの独断と偏見によって行なわれた。オレはこの作品を、オレの今までのマンガ活動の総決算として取り組むつもりだった。というわけで、絵コンテから原画、動画までオレの好き勝手にやらせてもらった。お陰さまでアニメを作るスリルと死ぬ思いを満喫することができた。

絵コンテは岡田和大氏の脚本のもとに書いていったのだが、作品のストーリー上における約100カットにわたる中だるみは、脚本家を無視したオレの身勝手な行動の成果であった事を自負するわけがない。

絵コンテが進むに従って、おのずとキャラクターやメカのデザインが決まってきた。キャラとしてまずオレは、何とんでも「ライヒ」が出したかった。ライヒはオレが数年来あためてきたワンハターンキャラで、年の頃なら50前後にやけのライヒ、とはもっはらのうわさである。彼はドイツ人で

あり、「飛来（ひらい）」というみえみえの日本人名をもちながら、アニメの制作過程でスタッフ達がライヒの方に慣れてしまったために、今回は日本人ライヒとして芸工大指令官を演じている。とはただの言い訳にしかすぎんや。その他のキャラは「ら・ら・む」が出てきたあたりからローカルキャラに徹してしまい、老けた真田さんを除いて全てウチのクラスのコニーカーと政治関係者の似顔絵で構成されている。これらはオレの創造力の停滞を意味しているのはわかるとるんだ!! メカの方では、シンプル・メカに徹したスペースファイター（戦闘機）とUFOのデザインが、オレも気に入ってるし評判もいいみたい。ただ、モロ手を抜いたつむりのインベーターが、後になって



## プロレス特集!! その一 レスラーの巻

この特集は、プロレスの主としてレスラーへの僕の全く個人的、主観的批判であって、そのへんにある雑誌とは、かなりちがいますので、そのつもりで……………

まず、東洋の巨人、世界のジャイアント馬場率いる全日本プロレスから。

### 《ジャイアント馬場》

御存知、全日本の御大である。しかし、技が無い。見せ場が無いのである。16文キックにしる、32文・人間ロケット砲にしる、結局相手がロープからはね返ってこないとなんにもならん。まあ、一番の技といえるのは、かわず落しだなあ。それ以外は…。カラテチョップにしる逆水平、脳天チョップにしる威力がない。もう歳も歳だし、何か見せるものがないとダメになるなこりゃあ?

### 《ジャンボ鶴田》

若き二冠王と言われている全日本のホープ、いや大黒柱的存在である。が、彼にも技がない。一応のことはできるが、何となく独自のものが無い。フライングニーアタックなどの派手な技もあるが、威力がない。少なくとも真空飛びひざ蹴り位の威力があってもいい

と思う。やはり、彼も何か鶴田スペシャルと言われる位の大技を開発したほうがいいんじゃないかなあ。でないと、ファンの人気が下がってしまうよ。ただでさえ全日本プロレスはテレビ中継が土曜スペシャルのため、深夜になってしまったんだから、夜遅くまで起きていても見ようという気にさせなければねえ。

### 《その他》

いろいろ選手がいるが、まだ世界へは通じそうにないなあ。早く馬場、鶴田と並ぶレスラーが一人でもいいから出てこないかなあ。

次は、金網の鬼ラッシャー木村率いる国際プロレス。

### 《ラッシャー木村》

金網の鬼と言われているが、決め手がないなあ。流血ショーという感じだ。それに体型的にも腹が出ていてどうもいかなあ。だるまさんを連想するなあ。

### 《グレート草津》

その昔、まだ怪力豊登がいたころは筋肉質で一見、新日本の坂口を小型にした感じだったのが、今はなんとなくさえんなあ。足四の字が得意なのに近ごろさっぱりテ

レビに出んなあ。そうそう、テレビといえば今、国際プロレステレビ中継があったりなかったりするんだよね。女子格闘技戦なんかに時間取られたりしてさあ。もっとしっかりせないけんで！

#### 《阿修羅・原》

国際プロレス売り出し中の新人であるが、どうも個人的に好きになれん。もうタイトルも取ってしまったけど、内心、僕はミレ・ツルノを応援しとった。どうもいかなあ。まあ、これからどう成長するかどうかだなあ。

#### 《その他》

マイティー井上やアニマル浜口などいるにはいるが、やはり大将にはなれそうにないなあ。国際プロレスはもっとしっかりせんと、新日本に吸収されちゃうぞ！

日本勢の最後として、燃える闘魂アントニオ猪木率いる新日本プロレスについて。

#### 《アントニオ猪木》

今や人気、実力日本一と思われる男である。あらゆる技を不完全ながら使いこなす。不完全とは特にポーアンドローなどに見られる。しかし、アントニオスペシャルという独自の技もあるので、見どころがある。最近では、プロレスの粋をはみだして、格闘技なるもの

つまりマーシャルアーツだなあ、これをやりはじめています。この試合については、文句がいろいろありますがここではやめておこう。

馬場との試合があるとのことだが、楽しみだなあ。スローモウな馬場と一見スピーディーな猪木と何かおもしろいことが起きそうだな。

#### 《藤波辰巳》

今や人気では猪木に次ぐとまで言われている。たしかに体型は筋肉質で、技にもドラゴン・ロケットという一見華麗に見える空中殺法もある。それにWWFのJヘビー級チャンピオンという箔も持っている。人気が出てあたりまえだが、これから先の課題はどうやってヘビー級のタイトルを取るかである。身長がレスラーとしてそれほどないので、体重をどうするかが問題になろう。

#### 《坂口征二》

世界の荒鷲坂口であるが、こういうパワーを売り物にしているレスラー共通で、技がない。大技はあるが、細かいつなぎの技がないのである。でも、そのパワーもアントニオ・ザ・ジャイアントには通じなかった。外人のパワーレスラーは、ジャイアントとも互角に戦うのを見ても、やはり、もう少し工夫しないと行き詰まる恐れがあるなあ。

#### 《ストロング・小林》

かつては、国際プロレスの若きホープであったのが、いろいろあって現在にいたるのであるが、彼にも坂口と同じことが言えるなあ。それに、歳もだいぶ取ったし、リーグ戦などでもあまり良い成績、つまり、チャンピオンにはなれなくなってしまった。奮起を期待しよう。

#### 《その他》

星野、山本、などいるが、やはり前者四人と比較するのは、かわいそうだなあ。まあ、国際との試合でがんばってちょうだい。



次に外人レスラーについての思いを述べたいが、外人レスラーは日本のシリーズに参加したのをちょこちょこ見るだけなので、非常に簡単しておく。

#### 《ハリー・レイス》

NWAのチャンピオンで、プロレス界の頂点に立つ男で、華麗さはないが、技そのものが力強い。

#### 《ニック・ボックウインクル》

AWAのチャンピオンで、逆に力強さは感じられないが、華麗さがある。

#### 《バーン・ガニア》

AWAの帝王といわれる男であるが、タイトルが無い今、今一つさえないなあ。

#### 《A・ザ・ジャイアント》

世界の巨人で、実力、つまり本気でやったらNo.1であろう。大男のくせに小技も使いやがる。

#### 《T・ファンク》

映画にも出演した元NWAのチャンピオンで、日本人レスラーとのかわり合いも深い。

#### 《D・ファンクJ》

T・ファンクと兄弟でがんばる男であり、タッグでのコンビは抜群である。

#### 《B・ロビンソン》

イギリス紳士であり、フェアであるが、自滅も多い男である。Wアームスブレックスよりワンハンド・バックブリーカーのほうが威力があるみたい。

#### 《S・B・グラハム》

ボディビル出身で、初めてレスラーとして成功した男である。上腕部まわりが57cmあり、その怪力は体の固さをカバーしてもありあまるほどである。

### 《B・プロディー》

先日、日本に初来日して馬場を軽々と持ちあげて、アトミックドロップを見せた怪力の持ち主で、キャリアを積み、末恐ろしいレスラーになるだろう。

### 《A・T・ブッチャー》

スーダンの悪魔であり、流血を得意とする体力消耗レスラーである。ラフファイターだが、目はたれて、大きくて、とても目だけではラフとは思えない。

### 《T・ジェット・シン》

こいつもインドの悪魔である。サーベル片手に大あばれ、猪木との死闘は見ものである。

### 《上田馬之助》

日本が生んだ悪役であり、シンのサーベルに対抗して、剣道のしない片手に大あばれである。この男も目はかわいい。

### 《T・カマタ》

ブッチャーと良く似た体型で、ラフファイターで、空手殺法である。ブッチャーとの試合はなかなかおもしろかった。

### 《マサ・斎藤》

ラフとテクニクの両刀使いであり、気がぬけない。坂口との縁試合はおもしろい。

### 《フリッツフォン・エリック》

鉄の爪エリックであるが、もう引退したと思ったら先日鶴田とや

って、アイアンクローで鶴田を持ちあげたのにはびっくりしたなあ。息子達も人気があるよ。

### 《T・デストロイヤー》

昔は力道山から今は馬場まで数々の日本とのかかわりあいがある。歳が歳なのでスタミナが問題になっているが、昔は強かったんだぞ！

### 《M・マスカラス》

メキシコの覆面レスラーで、その空中戦は見せるものがある。またテーマのスカイハイがすてき。

### 《D・カラス》

マスカラスの弟で、体格が小さいのが痛いなあ。

### 《ペーロ・アグアイヨ》

藤波をつけねらっている男で、たしかに強い。体質もいいし、後々が楽しみ。

### 《グラン・浜田》

タイトルは失なったものの、軽量を利用して、メキシコ流のレスリングをして、見ていておもしろい試合をする。

### 《大木金太郎》

天下の原爆頭突きを持ち主である。ボボ・ブラジルとの頭突きのやりあいは見どころがあった。

### 《ボボ・ブラジル》

ボボはある地方では非常に知られるという悲運のレスラーである？

### 《マクガイヤ兄弟》

兄弟合わせると何と650kgを越える。しかし、一回転ぶと自力では起きられない。でも、どうやって日本に来るのかなあ。普通の飛行機じゃあ落ちるとちゃうか？

### 《ブラッシー》

かの昔、白髪の吸血鬼として恐れられていたが、今はステッキがないと何もできん人とはO氏の話。

### 《T・シーク》

アラビアの怪人であり、ブッチャーと組んで、ファンク兄弟とのタッグマッチはすごい。あれぞプロレスぞ！

まだまだいるのだが、紙面がないのでこのへんで。

次に、今まで僕が見た、といってもテレビだけど、場面でおもしろかったのを順にあげてみると、

T・ジェットシンと猪木との試合で、お客さんが椅子を持ってリングの上にあがり、シンを椅子でなぐったことであり、いよいよプロレスも参加するスポーツになったかと思わせた。

国際プロレスのテレビ中継で、あまりに凄惨な場面ですので、フィルムをカットしました、という

文字が画面に出て、フィルムがカットされた。これほど国際は流血を売りものしているのだ。やはり会場で見ないとけない。

ブッチャーと馬場がPWFのタイトル戦をやったとき、ブッチャーが勝手にロープにもたれかかりそのままリング外にぶっ倒れて、馬場の勝ちとなった。なんとなく演出くさいなあ。

シビアな所では、昔であるが、カールゴッチとルーテーズの試合である。これは幼いながら感動した憶えがある。結局引き分けだったと思うが、良かったなあ。

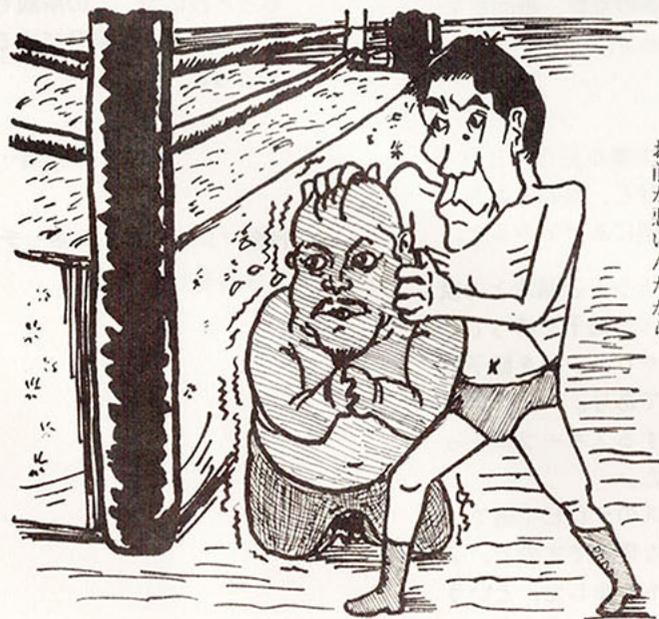
もっと技についての解説もしたいのだが、それは来号にすることにしよう。

担当…T

推薦マンガ…愛しのブッチャー  
これはおもしろい！



猪木さんを  
いじめるなんて  
あたし絶対  
許せない!!



少しいたいけど  
がまんしろよ  
血のりを忘れた  
お前が悪いんだから



んもう～やんなっちゃう!  
いつも先に飛び出ちゃうんだから  
あたしは、いつもおいてけぼり…

a good rider!

## 雑談



### ——オートバイ・その他——

※写真と内容とは一切関係ありません。

先日、「復讐するは我にあり」を見た。今村昌平監督の久々の作品というので、期待に胸ふくらませて映画館に入ったのだが、見事に裏切られてしまった。ただ、殺しのシーンと、裸のからみ合いが目に残っただけ。本当に残念であった。

6月18日(月)九大オケの定演  
なんと団員が多いのだろう。そして、なんとお客さんが多いのだろう。もう、ぎっしり。後ろの方では立って聞いている人がいる。

指揮 堤 俊作氏

交響曲第8番 未完成 シューベルト

交響曲第1番 巨人 マーラー

アンコールが2曲もあった。  
ああ、うまいなあという感じ。  
しかし、お客さんが多かった。

6月29日(金)芸工大フィルの定演  
ガーン。お客さんがいない。いや、少ない。ほんとに。九大の定演の時の匂いや、匂いの入りである。あ~~~~。  
でも、その分だけ、ゆったりと座れてリラックスして聞ける。

指揮 田中一嘉氏

バイオリン独奏 本野佳子さん

8つのロシア民謡 リアドフ

バイオリン協奏曲 チャイコフスキー

交響曲第2番 ブラームス

演奏中にカメラのシャッターの音が何回となく会場に響き渡ったり、非常に不愉快になった。

技術的には、九大に一步譲るか。しかし、よかった。指揮者の田中氏が、拍手の中、ホルンのNさんに拍手を、と手を振った時には感激した。  
暖かい雰囲気演奏会だった。

午前0時をとっくに過ぎたころ、遠くから聞こえてくる。

「パオーン、パオーン。」

ああ、またバカどもが走りまわるとる。暴走族。最近、暴走賊もでてきた。

彼らの多くは高校生、あるいは、やっと成人した位の若者である。そこで同世代の一ライダーとして、自分なりに暴走族のことを考えてみた。

学校が、仕事がおもしろくないからそのうっ憤を晴らしているのさ、と言うヤツがいるかもしれない。しかし、それはまちがってるな。要するに、彼らはマシンに負けた連中なのだ。

僕自身、日頃オートバイに乗っていて、スピードを出したい、他の車に抜かれたくない、目立ちたい(人に見てもらいたい)と思うこと、あります。

ほんとに。そして、スピードをあげてみることもある。しかし、すぐにスロットルを緩めてしまう。

何故か。

僕が大人だから!?……いや、ちがう。つかまるのがこわい!? そうかもしれない。一言では言い表わせない。

ただね、僕はいつも、こう思っている。

『マシンにのまれたくない。』

マシンに操られたくない。

マシンの前に自分を見失うような、そんなぶざまなことはしたくない。』

暴走族よ、もっと、大人になれ!  
いつまでも、甘んじられているな!



何と、カメラの音は、わが『MASH』の編集員のひとり、O氏だったので。なんと、大胆、いや、非常識なことを。

本人は、大いに反省しておりますので、どうか、御容赦を。

## 現代ロックを支えるニュー インストロメンツ

この十年ほどの電子工学の急速な変化により音楽表現の手段である楽器そして録音技術が大きく変化したのは言うまでもないが、それにともなって音楽を生み出すイメージネーション、アイデアの観念さらには、音楽自体のスケールを大きく引き伸ばしている。具体的には、シンセサイザー、メロトロン、シンフォナイザー、ギスモ…などこまかく上げて行くときりがないほどである。そこで今回は、音楽に革命をもたらしたとも言える新しい楽器をいくつかとり上げてみることにした。

### ・シンセサイザー

もともとシンセサイザーは、楽器としてと言うより、音を合成する機械として実験的に作られたもので、製作当初は大変操作が複雑であった。現在ロックバンド、特にプログレバンドにはなくてはならない楽器であるが、最初にミュ

ージャンがステージで使用し始めたのは「E L & P」のキース・エマーソンであろう。（たぶんそうだと思う。）彼が、新しいサウンドを捜し求めている時に、偶然この機械に巡り会い、これをステージで使えるようにしてほしいと言う条件をつけ、ムーグ社に特別注文したのが、現在のシンセサイザーブームの火付けとなったのである。このシンセサイザーのおかげかどうかはわからないが、「E L & P」は大成功を収め、キースエマーソン自身も、シンセサイザーを世界で一番良く理解したロック界ナンバーワンのキーボードプレーヤーとしての地位を獲得している。その後、イエス、ピンクフロイド、ユーライアヒープ……などのバンドが、競って使用し始め、プログレッシュブロック＝シンセサイザーと言うような方程式を聞き手の側で、作り上げてしま

ったのである。最近では、ジャン・ミッシェル・ジャールのアルバムが爆発的な売り上げを示しシンセサイザーはもはや、ロックバンドの中の一楽器としてだけではなく、シンセサイザーだけでも十分音楽として成り立って行くと言う事が証明されたわけである。

### ・メロトロン

シンセサイザーほど有名ではないので知らない人も多いと思うけど、メロトロンと言うのは、テープレコーダー＋キーボードと考えれば良いと思う。つまり三十五の音全部にテープレコーダーが組込まれていて、テープに録音されている音を、キーを押すことにより再生スタートさせ、キーを離すと約二分の一秒で巻きもどすといったものである。テープは一本のテープ内に同じ音程で、ヴァイオリン、チェロ、フルートの三種類のトラックを持っていて、音の持続時間は七秒間である。メロトロンは七秒以上持続する音であれば、何でも録音して組込むことが出来るのである。一人でオーケストラをプレイすることが出来るし、一人でコーラスを作り出すことも出来るわけである。このメロトロンは、ムーディーブルースのマイクピンダーの手製のものがオリジナ

ルで、イエス、ピンクフロイド、キングクリムゾンなども愛用しているようだ。現在メロトロンは、この楽器が普及すると、オーケストラの仕事がなくなってしまうとの理由で、クレームがつきアメリカのユニオンでは販売禁止となっている。

### ・シンフォナイザー

メロトロンのストリングス（ヴァイオリン、チェロ）の部分の効果をコンパクトにまとめたキーボードで、メロトロンのようにテープは使用せず、電気的に音を作り出すものでメロトロジよりはシンセサイザーに近いものだ。メロトロンが販売禁止となっていることもあって、最近愛用者が急増しているようだ。

### ・まとめ

以上のものの他にも、たくさんあるが、ようするにこのような楽器を使用し、他のグループにない音つまり個性を求めているのである。今の音楽界の状態が続く限り、このような新進楽器の開発は続くことであろう。

今回は、何かおっくうになってしまい、文章に支離滅裂な所がありますが、その点はお許しを

## ブルーレポート

自他共に認める二重人格者であるぼくですが、最近ではポルノ映画もさっぱり見ないことだし、今回は1号とは違ったスタイルで書き

中学の頃RKBはバックインミュージックをやってなかったので直接TBSを聴いていました。あの頃は2部もあって、女性DJの人がたくさんいました。馬場こずえさんとか、ソラマメさんとか好きだったのです。でも今はトラックの運転手さん相手の番組に変わってしまい、たまに聴くんですが、物足りない感じです。走れ歌謡曲は今でも直接文化放送からしか聴

筒井康隆といえばテレビの「タイムトラベラー」を思い出しますが、芳山和子役をやった浅野真弓さんに、あの頃ぼくはすっかりイカれていました。ところでSFファンの人なら火田七瀬を知っていると思います。彼女も筒井康隆の小説に出て来るヒロインですが、このシリーズの第二弾「七瀬ふたたび」は傑作だと思います。国家権力による超能力者迫害という悲

1号のブルーボーイのピンクレポートというタイトルは、ブルーレポートに変えさせてもらいます。

たいと思います。こういう人間の二面性は誰にでもあることだと思うのですが、まあその話はさておいて……

けません。でも前のメンバーと変わってからはさっぱり聴かなくなってしまいました。兼田みえ子さんとか、いぬいみずえさんはどうなったんでしょうかねえ。ところで、オールナイトニッポンに山崎ハコさんが登場してぼくはとてよよろこんでいます。彼女の放送を聴いていると、ただたどしいけれども飾らない彼女の話しぶりにはとてよひきつけられてしまいます。

しいストーリーですが、ぼくの頭に強く残る芳山和子のイメージが七瀬に重なって、最後の方で七瀬の命が危くなると、涙の出る程感激して読んでいました。

ところで「七瀬ふたたび」はNHKで春にテレビ化されると聞いて、とてよ期待していたのに、とうとうありませんでした。だからNHKはきらいなんです。

PLA Y只

## SPACE INVADERS

インベダーに基地を占領される前に私たちは平和を求めたいものだ。

SCORE (1) HI-SCORE SCORE (2)

0050 9640 0000

皿

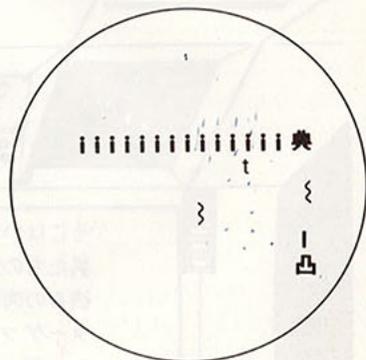
只只只只只只只只只只  
頁頁頁頁頁頁頁頁頁頁  
頁頁頁頁頁頁 頁頁頁頁  
典典典典典典 典典典典  
典典 典典典 典典典典

門 門 門 門

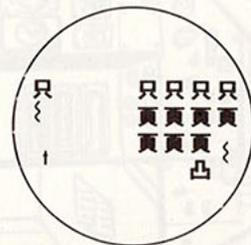
2 凸 凸

CREDIT 00

徹底した攻撃をする人もいるだろうし、徹底した防御をする人もいるだろう。しかし中途半端にしていると心まで侵略されてしまう。

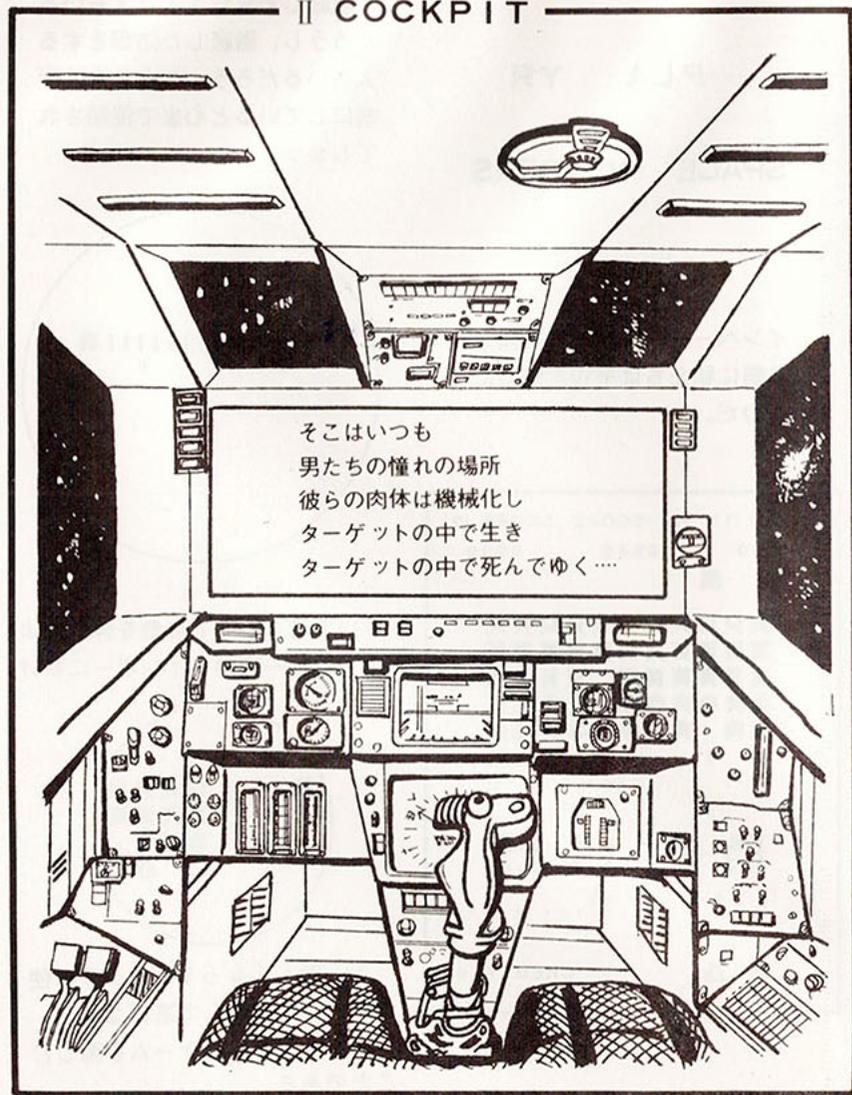


UFOを待つて点数を伸ばすよりも私は一度のレインボーにかけろ。



もし苦しくなってもモグラは使わない。私は決して逃げない。一番大切なのはゲームを楽しむことである

II COCKPIT



そこはいつも  
 男たちの憧れの場所  
 彼らの肉体は機械化し  
 ターゲットの中で生き  
 ターゲットの中で死んでゆく……

左エンジン出力40%、右エンジン出力75%、左エンジン出力低下中、イオン温度、プラス670度、危険レベルまであと130度、水素圧レベル、プラス2.5、液体酸素レベル、プラス5、サイクロトロン出力68%、ナトリウム緊急冷却液12ミリグラム、速度、560ノット、宇宙軸に対して左へ18度傾斜、第207飛行誘導衛星の電波エリアまで10万マイル、宇宙空母ブラックパンサーの位置は、依然不明、生命維持

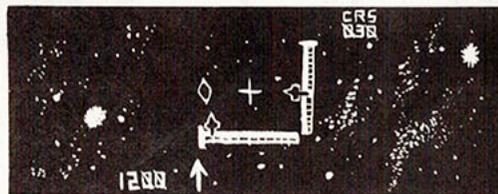
装置、炭酸ガス浄化装置の機能低下中、非常用酸素発生装置異常なし、セーフティパネル、左エンジンノズルに亀裂、第1装甲板剝離、イオン第2伝導管切断、水素イオンタンク破損、右エンジンアフターバーナー破壊、ECMアンテナ破損、後方警戒レーダー能力低下……

私の眼は、計器盤の上を、いつものように事務的にはっていった。赤い警告ランプが、灼熱の太陽のようにまぶしい。ディスプレイパネルの上に、コンピューターが、機械的に、あまりにも正確な情報を打ち出してゆく。死の瞬間が近づいているというのに……。そうか、機械には恐怖心がないんだな。

そういえば、俺も妙に落ち着いているなあ……。

「もたもたするな！ そんな事じゃ、命がいくつあっても足りないぜ！ 戦争はゲームじゃないんだ。」

俺は、宇宙パイロット養成所では、どならればなしだった。特に、がらがら声でデブのブラウン教官には、よくなぐられたっけ。成績は、もちろんびりだった。でも、俺より優秀なやつがどんどん死んでゆく中で、なぜか、俺は今日まで生き延びた。レーザービームのやつ、うすのろな俺の事を哀れに思って、よけてくれたのかな。



真っ赤なレーザービーム。赤、赤は情熱の色、真っ赤な唇。ルーシー。彼女は、宇宙空母ブラックパンサーの管制官。栗毛色の巻毛を肩までたらし、青い涼しい瞳が、いつもいたずらっぽく笑っている。帰艦する時、かわいい声で、「お帰りなさい」と言ってくれた。彼女の声も、もう聞けない。声…電話……

「お前…元気かい…いつ休暇がとれるんだい？」…母…かあさん……ママ……ママ……ママ!!……

死の瞬間、パイロットの脳裏に浮かぶのは、母の面影。この一瞬、コックピットはゆりかごとなる

シリーズ

# 彷徨 (ほうこう)

ある男がいた

NANKA=ゆうたかの

場合



彼は鉛筆を回すのが好きだった

2



そして、どこかにある  
ユートピアを探し続けて  
いるのだった

3



素敵な女の人を見ると  
すぐに愛の告白をした

5



彼はそれを  
女性の愛に求めた

4



だんだん自信を  
失っていく彼だった

しかし  
あまりに何人もの女性に  
素気ない返事をされると

6



そして、やっとかわいい  
彼女を見つけたのだが、

7



他の男のもとに去られた

8



彼は失恋の味を  
初めて知った

9



真のユートピアを求めて  
彼はまた歩き出すのであった



## 青春 Part 1

### ファンタジア

夏の暑い日射しの中――。

僕は、何のあてもなくふらっと街に出てみた。

夏の街――。

うんざりするほどの長い人波が、右へ左へと動く。

その人ごみの中に僕は一人の少女を見つけた。

俗に言う、美人じゃないけど、透けちゃいそうな女の子。

触れたらスーッと溶けちゃいそう――。

僕の足は、いつの間にか、彼女を追っていた。

彼女のあどけない横顔が僕の心の中にふっとなつかしさが込み上げる。

遠い日の思い出が、僕の脳裏に甦える。

が、次の瞬間、群衆が彼女を呑み込み、

僕の視界から連れ去ってしまった。

また虚脱感が僕を襲う。

僕はやりきれない目を空に向けてみる。

王者のように燦然（さんぜん）と輝く太陽が僕を威圧する。

虚無感――。

皆無――。

絶無の世界が僕を支配する――。

いつしか、僕は、人の群れの中に埋もれていた。



ジャムについて、といってもあのジャムではありません。我が家の中心人物シバ犬のジャムなのです。当年とって2才半のオス犬です。

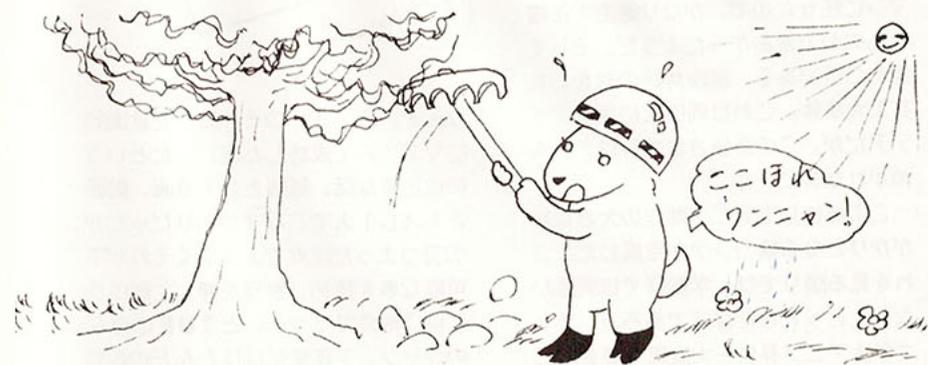
あれは雪の降る頃のこと、夕方妹が「犬もらってきたヨ」と抱いてきた小犬……両手にのる位の大きさで、まっ白でヌイグルミとしか思えなかった。座ブトンの上に乗せると安心しきったようにコロリとねてしまいました。

「名前なんにしよーか？」ということになって、母親は「ポールがいい」と言い、私は「サブローなんてどーかいな」妹は「絶対ジャムがいい！」

なかなか意見がまとまらず、始

めのうちはみんな好き勝手な名前と呼んでおりました。そのせいかどーか……今だに「ジャム！」と1ぺん呼んだくらいではそつぽを向いています。「ブタ！」とか「ハゲ！」とか呼ぶと耳をピンと立ててふり向くのです。

小さい時はわがままで、散歩につれていって「さ、ジャム帰るヨ！」と言うと「グ〜ツ」とかうなりながら、根性で手足をつっぱって絶対帰るまいとします。それでも無理にひっぱるとねころがります。それでも無理にひっぱると鼻の上にシワを10本位よせて、野生に戻って本気になってかみつてくるのです。こつちも必死になって首輪をつかんで半分もち上げて



引きずりながら帰っていました。近所のおばさんはあきれた顔で笑うし、あの頃私の手足はひっつき傷だらけでありました。

今ではジャムも成長してそんなことはしなくなりましたが、この犬はきみよーに素直でないところがあるんです。夜、ご飯をもつていって「おすわり！」といつても、そんなことはどーだつていい、という顔をしてよそ見をしたり後ずさりしたり、はては小屋の中に逃げこんだり……しつこく10回位言つてもしらんぷりの時は「あーそう、いーよいーよ、もうお前なんか一もやらん！」といつて戻ろうとすると急にあせつてピョンと目の前に飛び出て、お座り、お

手、おかわりを行儀よくするので。もしかしたらこの犬はアホかそれともものすごーい天才なのではないかと家ではうわさしております。

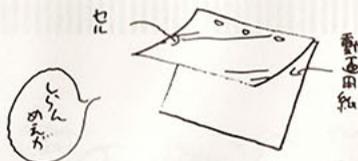
こんなジャムだけど心の中はと一つてもやさしいのです。大人が家に来るとすぐく吠えるのに子供には吠えたことがありません。子供がそばによって頭をなでてもじ一つとしています。まるでシートン動物記のウニベグの狼、みたい……感動的なシーンです。ジャムは心優しき我が家のヒーローなのです。

キリキリ桐子

膨大なセルの浪費を招く事になるとは予知できるには至らなかった。大要塞基地芸工大の建造物及びその内部は、専門家である環境設計学科1年の背景マンに任せたので、かなり緻密で正確なものができあがったようだ。そして極めつけである、逆四角錐の形をした芸工大本体。これは岡田氏によるアイデアだが、この奇抜さにオレはド肝をぬかれたのだ。

この様にしてアニメ制作の大きな足がかりとなる絵コンテが完成した。これを見る限りでは、学園祭では間違いなく大ヒットをとばすであろう、そして学生アニメ界に一大旋風を巻き起こすであろうかのように思われた…。また、当初あの「バンダーブック」が1時間35分で約1800カットだから、20分ものでその5分の1の360カット、さらに手を抜いて200カットが相場かなあと思っていたが、いざ絵コンテができてみると、なーんと26分の400カットだと！アニメはマンガと違って、ここんところノベルであったのだ!!しかしこんなことに感動している場合ではない。ちなみに絵コンテを書き上げるのに、既に2週間を費していた。

それでは原・動画の話に移る。作画をしてゆく上でまず念頭においた事は、タッチ、動きの面でやや虫ブコ風な感じを追ってみるということ。ああいった絵柄なら動かし易いと見たからだ。他の言い方をすれば、「バンダーブック」にモロ影響されたとも言える。横山隊員が「あっ!隊長」と振り返るシーン



なんぞ、「B・J」のその動きを意識的にマネてみて成功した例だったというのは正直な話。原則として原画、動画ともオレ1人でこなすつもりだったが、切羽つまった時点でようやくそれが不可能な事を認め、無理を押しして岡田氏には「緊急サミット」と「UFO爆発」のシーン、1年生にはほとんどの戦闘シーンを頼むという結果になった。それでもみんな頑張ってくれてくれた。ホントに。

しかし手を抜くに抜いただけあって人物がいつこも動いとらんなあ。我ながら手を入れた所といえば、「ら・ら・む」の姉ちゃんがしゃがむカットと陽子ちゃんが「きゃっ」と叫ぶカットぐらいかなあーうわばっかりや!岡田氏の「緊急サミット」なんかも手がこんでたみたいけど、あとは口パク、中3枚、中1枚なんてのばっかりだったもんな。さすがにみんなで書いたファイターは、よく飛んでくれたが。動かそうと思えばもっともっと動かせははずなのに、いかに手を抜くかばかり考えてきたからこうなったんだよね…。オレ自身、そこん所がとってもやさしい。だからこそ、いの作品をこのままにしたいわけではないのだ。

セルアニメを作る。この一言の重さをひと月前、我々は知った。我々なりに知った。楽じゃないということ。オレが4年間毎日欠かさずつけてきた日記に、2週間分の空白ができてしまった。あの日のことは今、オレの記憶と、部屋の押し入れに詰め込まれた動画用紙とセルと背景の残骸だけが物語る。

「ホントに、できるんかいな」

最終的な脚本は完成したものの、オレの書く絵コンテが停滞ごみな頃の岡田くんの、誠にきつい口ぐせであった。

5月18日(金)、学園祭の2週間前。芸工大厚生棟3階第二研修室が、我々の仕事場だった。背景マンはできたところまでの絵コンテコピーを見ながらの背景づくり。あとのスタッフは、何もすることがなかった。

19日(土)は閉店後の「エリイゼ」でスペースインベーダーの実写。「エリイゼ」のおじさんはとても協力的だった。本当にありがとう。

20日(日)、21日(月)と絵コンテと平行して書いていた動画がたまったので、トレース、彩色を始める。



この頃から、家で絵コンテと動画、学校で原画という生活リズムになり授業はサボりがちになる。しかしその割には仕事がかどらないので焦りだす。と同時に周囲の冷たい視線が気になります。

25日(金)、やったぞ!コンテUP。急いでコピーして学校へゆく。トレース彩色は驚く程のスピードで、動画はまだかと催促される始末。頼もしいスタッフ達。背景も順調、もう50枚は越えている。しかしこの時、既に学祭1週間前。さあ、波動エンジン始動ー!!

26日(土)、27日(日)。ようやくエンジンがかかったところで計画ミスによる落とし穴。仕上げマン達はこの2日間、授業がないので最も仕事がやれるはずの日なのに、肝心の動画ができてない!ガン!!致命的なミスだった。オレ一人で動画を書いてたんじゃ間に合うわけがないのだった。やっとそこに気づいても時すでに遅く、全く無駄な2日間が過ぎ去った。一同、「ホントに、できるんかいな」

ときに ながれこ

6月19日

今日、コンパがあった。酔っぱらってしまった。こんなに飲んだのは初めてだ。次々、お姉様がついてくれる。酔っぱらうとアホになつて楽しかった。

僕も酔っぱらってしまった。次々お兄様がついてくれる。酔っぱらうとアホになつて楽しかった。が、覚めてから悔根の念に悩まされてしまう。いつもこうだ。だからコンパの後は嫌いだ。でも、またやりたいなあ。たまにはアホになるのもいいじゃないか。なんだか、まだ酔つてみたいなあ。

\*\*\*\*\*

6月21日

ガーン／朝が目覚めた。目の上が重い。鏡をのぞいてみる。ううっ／何とまるでおいわさんのようだ。ちょっとした同情が命取りだった。ゆうべ「まあ、足の血ぐらいならやつてもいいや」と蚊がぶんぶんうるさかったが、放つておいたのだ。今夜、会つたら抹殺してやる。

それにしても毎年夏になるとこんなことが4、5回はある。私の

目の上はそんなにおいしいのだろうか。それとも夜、寝ている目も血ばしっているのだろうか。

僕もよく蚊にかまれるのです。去年は下唇をやられて、まるでいかりや長介じゃないか。ところで、足の血ぐらいならいいですが、血そのものには変わらんのとちゃうか？  
でも、虫をむやみに殺さないところは立派としか言いようがないなあ。



6月27日

〇〇新聞の勧誘がきた。若いお兄さんだった。

「もう他のをとっているの結構です。」

「いや来年の分でいいんです。うちの方が100円やすいですよ。そして、ぼくのぼくのボーナスがかかっています。」

なかなか帰つてくれない。

「料理も載ってるんですよ。彼に作つてあげたら？いいんだつたらぼくでもいいんですよ。」

ムッカー／いらん世話だ／頭に來た。

だが結局、来年の分の判こを押した。今考えると、はつきり断れなかつた己がくやしい。今度何かきたら絶対断わるぞ。

どこの新聞だ。おせっかいな。でも、男の僕でも、こういうのを断わるのは、なかなか難しいのに、女の人、一人だとどうしてもこういう結果になるのか。

しかし、あつかましい奴だなあ。いらん世話もいいところだ。僕も頭に来た。今度何かきたら絶対僕も断わりますので、セールスの人を待たせておいて、僕を呼んで下さい。

6月29日

最近、相棒とみつめあつてしまう。世間で許されない愛にならないうちに気をつけよう。

そうそう、気をつけましょう。相棒となんかやめて、世間でも許される愛にしないといけません。そのためには………？

\*\*\*\*\*

7月4日

若い男女が部屋の前の道をやつてきた。隣室が空室なので何か言つてのぞいている。「この部屋のの人に聞いてみようよ」私と同じくらいの年の女の子が言う。「おっ／くるな」と身じたくをしているとやってきた。まだあどけなさののこる2人である。などとなまいきに思った。2人ともあいそが悪かった。あいそがよかつたら2人の愛を祝福してあげたのに――

あ……あのおう、僕が行つても祝福してもらえてでしょうか？してくれるんなら………？

※コメントは《時止男》でした。

## 文句……………

★

今回から、何と女性のスタッフが三人も入ってくれたので、気も狂わんばかりに喜んでいる。そのため、文句なんか言いたくない。しかし、非情にも編集長はページを埋めろという。しかたなしに始めたが、何となく乗らないなあ。

★★

政府のやっている省エネルギー政策は、アチコチから批判がでているが、当然なのである。だいたいガソリンだけについても、スタンドを閉めるだけで、どれほどちがうというのだ。ここまで資源問題が深刻になって来たらもっと思い切った政策、例えばマイカーの自粛どころではなくマイカーの禁止とか……。そうでもしないと数十年後きっと何かが起るぞ。もしかしたら、学者達にはもう資源の余裕がほんのわずかと解っているのかもしれない。ただ、パニックが恐ろしくて、公表しないだけなのかもしれない。皆さん、どう思いますか？

★★★

前の問題にも関連するが、近頃車の新型車や、マイナーチェンジ

した車の宣伝が多いが、それでいいのか!!一方では、資源問題で悩んでいるのに、もう一方で大宣伝している。何が「美しくなければ車ではない」、何が「低燃費」、「低価格」だ。そんなきれいごとやめて現状をよく考えよう!!

★★★★

今、車のオーディオに金と時間をかける奴が多いが、はっきり言ってやめてほしい。何が走るリスニングルームだ!!窓を閉めて、チャラチャラ音楽なんか聞きながら運転するけん事故が起こるんだ。他のこと、例えば勉強なんかではあれほど「ながら族」はいけなげと言っておりながら、こと運転はながら運転でいいのか。ダラめら

★★★★★

オールスター戦が近づく中で、注目の中日の小松投手についてちょっと。彼は時速 150kmの球を投げるが僕が思うにどうも快速球という感じで剛速球という感じはしない。刃物に例えればカミソリである。カミソリは薄いものは切れるが、厚いものは切れずに刃こぼれする。やはり彼が大成するには快を剛にせんといけんなあ。

★★★★★★

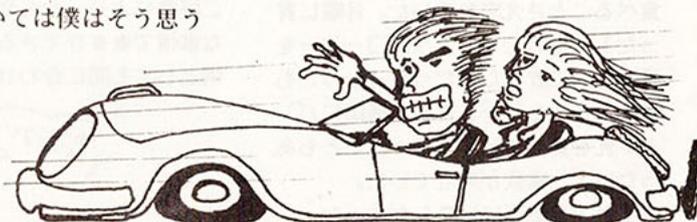
最近、世間を特に騒がせているインベーダーゲームについても一言。たしかに、ゲームする金欲しさに、たかり、とか、持ち出し、は悪いが、そうかといって、今やっているような臭いものにはフタ式でいいのだろうか。一番頭にくる禁止の理由として、インベーダーが不健全な遊びとあるが、じゃあ大人は不健全なことをしてもいいのか?そういう変な理由を上げるなら全面禁止にするべきだろう。

また、そもそも健全か不健全かはする人によって決まるものだろう。遊び方次第では、どんなゲームも健全になったり不健全になったりするのではないかと。不健全と決めつけられると、僕達みたいに、仲間と気分をほぐすために、楽しくゲームをしている者まで変な目で見られるようになるじゃないか。他のことについては、良く知らないから何も言わないけど、このことについては僕はそう思うな。

★★★★★★

スターウォーズ以来、また特撮映画が出て来ているが、近頃どうも、素人がその映画の特撮の方法などをあだこうだとやかましく騒いでいるが、この手の映画は娯楽作品なのだ。スーパーマンにしたってそうだ。場面で、あそこはおもしろかったとか、つまらなかったとか言う位で、何も素人が技術的なことを、とやかましく言う必要はない。芸術作品、又は、試験的な作品では、たしかに技術的なことも言ってもよいが、娯楽作品は、うつとおしい日頃のストレスを晴らす程度でいいだろう。

また変てこな雑誌がそういう特集をしているが、皆それにひっかかるのはやめよう。技術がどうだこうだと言ってから見たら、ちつともおもしろくないぞ。少なくとも見てから、あれはどうしたんだろうと思つて調べる程度にしておくべきだ。





28日(月)、学祭4日前、ここがさっき書いた切羽つまった時点であり、やむなく原・動画の一部を他のスタッフに頼んだ。ただ、自分一人で原・動画を仕上げるのは不可能だったことが、無性にくやしかった。

また、この日から、仕事の能率化のためにオレは自分のアパートに閉じこもり、昼と夕方、誰かスタッフにできた分の動画を取りに来てもらい、それを学校で即仕上げしてもらおう。オレは進行状況を見に、夜ちょっと顔を出す、という生活ペースになった。授業とか、もうどうでもいいことであった。

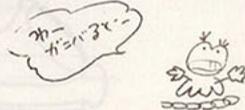
1日中、ひたすら動画を書き続けた。朝も昼も夜もなかった。自分が起きてるのが寝てるのかもわからなかった。ただ、朦朧とした時間が過ぎていった。食べることをさえていた。月曜に買った1缶の〇ツカアイスコーヒーを眠け覚しに飲むだけだった。いっこもきかんかったけど、あれ。横山にパンと牛乳を買ってきてもらったこともあったけど、食欲が失せていた。

それでも動画はUPしなかった。

30日(水)、学祭2日前、夕方横山が来て、「セルが足らん」と言いだした…。**ガン!!** 1500枚あったセルが…もう、ない!? このドタンバに…。「もうダメだね」と横山は言う。じょ…冗談じゃない、ここまできてあきらめられるかっての! しかし…セルがあと500枚という2万円— そうでなくとも、もう想像もつかない程、みんな出費してるのに。だが今日中に買わなければ学祭での上映に間に合わん。急がんと、もう5時だ!!

「みんなと相談してみる」と横山は帰っていった。バンキヤ□ーツ、こんな大変な問題を残しながら監督のオレが、一人部屋の中で動画なんぞをノホンと書いてられるか! とすぐ学校へとんでった。—そしたら、ん!?…セルがある。な・な—んと横山がこ—一番、バイクぶっとばして東映アニメショップにすべり込みセーフで買ってきてくれたんだと—お! やるウ、それに武田をはしめとする数人のスタッフ達が、2万円という大金をしばり出してくれたのだそうだ。こん時ほど嬉しかったことはないよ、ホントに。ありがとうね、みんな。

また、今まで夜9時までしか使えなかった仕事場が、学園祭実行委員会のご好意により、なんやらかんやら複雑な事情で徹夜ができる運びとなった。何としても間に合わせねば!!



31日(木)、学祭前日の昼すぎ、メチャクチャ手抜きだがついに動画UP、学校へ行きさっそく最後の動画をトレースにまわす。さあ、今日で全てが決まる! 明日(学祭の初日)の朝までに撮影がおわれば、一ちなみに芸工大近くの現像所へ朝10時までにフィルムを出せば、その日の夕方5時には現像済みのフィルムができあがるのである。—最終日だけは上映できるんだ、だがもし間にあわなかったら、全てが水の泡となる、…今日はみんな徹夜だな。なんてことを考えながら撮影を始めたのが、夜の8時だった。

1時間、2時間と時は我々の前を通り、過ぎ去った。しかし撮影は4~5カットしか進まなかった。撮影するべく用意されたセルは、まだ350カットを残していた。一同、撮影の大変さに息をのんだ。と同時に今後の撮影に対する不安が広がった。「もっと急ごうや!」の掛け声に、心なしか気迫が欠けていた。そして、3時間、4時間とさらに撮影を続けるに従って、その不安が確かなものである事がお互いに、無言のうちに了解されつつあった。

午前零時をまわった頃、あいてるカメラで、も一つ撮影台を作ろうという話がもちあがった。今さらスポットライトを新しく2台も借りてくれる訳がないと、希望を失っていたオレだったが、突然ホントに偶然にも運よく、レフランプつきのコピースタンドが丸ごと借りられた。いける! いけるよ!! 神が差しをべた救いの手に、オレは喜

びの余り、GOだ! GOだ!! GOだ!!! と叫び走り回っていた。

こうして2つのグループに分かれ、張りきって撮影を再開した。…再開したのだったが…それでも我々は甘かった。

原因は、セルの紛失とロバクだった。この2つが撮影に致命的な遅れをひき起こしたのだった。我々の予測できる範囲外のことだった。見つからないセルに腹を立てるスタッフ、ロバクのタイムシートを書いたオレに怒りのはこ先を向けるスタッフ、あらぬことを口ばしりカメラのまわりをうろつくスタッフ。3日間、全くの不眠不休だった森くんは、夢遊病者の如くふらりと行方不明になってしまった。みんなが時間の経つにつれて普通じゃなくなってきた。

みんなダウン寸前だった。2~3日ホントに徹夜続きだった。睡眠不足と栄養失調と過労のトリプルパンチだった…。そこで突然停電になった。午前4時頃だったか、当然まっ暗になった。ただ彩色マンの机上のZライトだけが、なぜか異様に暗闇を照らし続けていた。全てが狂い始めたのだ。何をどうすればいいのかさっぱりわからなかった。絶望のどん底のような暗がりの中でオレは、このまま停電が直らなければいいとさえ思った。まあ幸いにしてというか1年生がすぐにヒューズを直してくれて、再び撮影ができるようになった。とにかくベストを尽くすことに変わりはないので、せせと撮影を続けた。

■PART 1 江川批判派

【江川を許すべからず】

日本国民的感情において、江川を絶対に許す事はできない。たとえ、彼が年に40勝もする大投手になったとしても（なれるわけないだろうが!!）彼の罪は消えないのだ。彼の罪、それは、日本のプロ野球ファン、特に少年ファンの心をずたずたにした事である。彼らの野球への憧れを、江川は無惨にも引き裂いてしまったのだ。少年たちの心にあった、血と汗にまみれたプロ野球選手のヒーロー像が、巨人中心の権力主義の下に、もがき苦しんでいる哀れな姿に変わってしまった。彼らの心に、ヒーローは再びもどってはこない。

【江川を誉める人は…】

江川を誉める人は、人からいじめられて快感を感じるマゾなので。球場で、江川の応援をしている人のお尻をつなっごらんさない、きっとその場で快感のあまりうずくまるでしょう。

【江川に対する憎しみを忘れないために】

よくない事が起こった時に、例えば、水不足、ひでり、地震、お金を落とす、恋人にふられる、などという事が起こった時には、いつも、「みんな江川が悪いんだ」としっかり言いましょ。

【江川への忠告】

江川君!!世の中は、いつも君の思い通りに動くとは限らないんだよ。君の事を、恨んでいるライオンズファンやタイガースファンがいる事をいつも忘れてはだめだよ。君の命を狙っている人さえいるかもしれないんだから。くれぐれも用心してね。君は、いつもマスコミに対して冷たい態度をとっているけど、やっぱりマスコミには親切にしてあげなくちゃいけないな。君は、読売新聞だけに評判がよくて、他の親間からは白い眼で見られているだろう?マスコミを味方につけることが、君の世間の評判をよくする第一歩なんだよ。



【江川を生物学的に解剖する】

問) なぜ耳が大きいのか?

答) 彼はいつも他人が自分の悪口を、いつ言うか、いつ言うかと気にして生活している。だから、自然に耳も大きくなったのだ。

問) なぜいつもつまらない顔をしているのか?

答) みんなから、あれだけ悪口を言われて、うれしい顔ができるわけなかるうが??!!

問) なぜ意味もないのに鼻血を出すのか?

答) 彼の生存本能が働いて、少しでも世間の同情を引こうとして鼻血が出るのだ。

問) なぜ人気が出ないのか?

答) もし、今の江川に人気が出たら、それこそ、世間の人だれでもがスターになれるのだ。江川に人気がないのは、人類普遍の原理なのである。

問) なぜ巨人に入団したいと、だだをこねたのか?

答) たった一言、ゼニだ!世の中、ゼニだっせ!!!

問) なぜ江川なのか?

答) 江川が江川でなくなった時それは、この世の善と悪が逆転した時である。ああ恐ろしや、江川のたたりじゃ〜。

※それでも江川を応援したい人に、MASH 推薦「江川応援歌」。

節は鶴光のオールナイトニッポンを聞いて各自学習しなさい。

- ♪ないないづくし、ないづくし、江川の顔には耳しかない戸
- ♪ないないづくし、ないづくし、江川のタマにはスピードない戸
- ♪ないないづくし、ないづくし、江川のカーブは曲がらない戸
- ♪ないないづくし、ないづくし、江川に人気あるはずない戸
- ♪ないないづくし、ないづくし、江川の顔には表情ない戸
- ♪ないないづくし、ないづくし、江川の鼻血に同情ない戸
- ♪ないないづくし、ないづくし、江川は野球やめるしかない戸

【シリアスな眼のつぶやき】

江川は、後見人をたてずに、自分ひとりの力でつっぱるべきだった……。

■PART 2 江川擁護派

前の方にグダグダと脳足りんが書いてしょうが、そんなに書くということは、それだけ江川のを恐れているからだ。自分にとって取るに足らない存在なら誰も文句や批難などはしないのである。誰もがさわげばさわぐほど、江川を注目し、それだけの力量を認めているのだ。やっ

ぱり江川はスゴイ奴だなあ。将来は巨人のエース、いやセ・リーグのエース、いや日本野球界のエースになると思うんだがなあ。どうだ、これでもまだ批難するつもりかや、本根をさらけ出しているとも知らず、意気まいてる脳足りんどもよ!

## 考新学の誕生

「何々学」と名のつく、数ある学問の分野の中でも、日本生まれの「学」というのは、あまりたくさんはない。たいていはヨーロッパではじまったものを反訳して輸入したものである。「何々学」という名も、「なんとかロジー」の訳語としてつくられたものとおお。そのなかにおいて、「考新学」というのは例外的な存在である。これは、きつすいの日本生まれの学問であって、輸入品ではない。1979年、福岡において、森山秀吉によって創始されたものである。

そのいきさつは、森山秀吉自身によっていくつかの場所でのべられているが、要するに大橋の紀伊国屋の開店記念に、「あたらしもの展」をやったのがはじまりだという。1978年以來、森山らはすでにSF 未来小説における風俗の調査をおこなっていたが、その成果を、図表や絵にして展覧した。そのとき、展覧会の名として、なにか適切な名はないかというので案されたのがこの「考新学」という名であった。考新学は、そのときはじめて世にあらわれたのである。

したがって、この考新学という名は、外国語の「なんとかロジー」の訳語ではない。はじめからの日本語なのである。そして、逆にその考新学という日本語から、フューチャーロジーという英語がつくりだされた。フューチャーロジーというのはもちろん、考古学が archaic age の研究という意味で archaeology とよばれるのに対して、future の研究という意味で futureology とつけられたものである。いかにも、生まれながらの英語のような顔をしているが、これは日本製英語であって、ふつうの英語の辞書にはでていない。

ただし、この学問の名がかたまるまでには、若干のゆれがあったように思われる。一つは、「考末学」といういい方である。古代を研究する学問を考古学というのであるから、未来を研究する学問は、考古学に対しては考末学でなければならぬ、という意見があったという。命名者自身は、どちらでもいいといいながら、ついに考新学でつぱりとおした。

もうひとつの点は、横文字の名である。「考新学の思い出」のなかで森山氏がしているところによると、展覧会ではフューチュレオロジーとそえがきすることにしようが、「考新学」の名を決定的に有名なものとした古典的名著、森山秀吉編『考新学』（1979）では、その語をつかっていない。表紙には、「考新学」の字をかこんで、FUTUREOLOGIO という12字が、まるく配されている。本の背には、カタカナで、「フューチュレオロヂオ」とある。これはどこの言語にならったものであろうか。イタリア語に似ているが、イタリア語なら何々学は -logia となるはずである。語尾が -o でおわっているのはエスペラントをおもわせるが、エスペラントなら発音はフューチュレオロギオでなければならぬ。命名者森山先生にといあわせたところ、やはりエスペラントからとったということであった。じっさい、「考新学総論」では、「フューチュレオロギオ」となっている。日本人に発音しやすいように、フューチュレオロギオをフューチュレオロヂオにあらためたのであろう。

考新学は考現学をもじって作ったもので、実際にはありません。

もり

6月1日(金) 学祭第1日目の朝、仕上げマン達は最後の仕事を終え、みんなのびていた。カメラマンだけが、悶悶と作業を続けていた。

朝10時、撮影はついに終らなかった。100カット近くの未撮影セルを残して、最後のフィルムを現像に出した。

誰も何も言わなかった。もはや何を言ってもムダであった。4~5人のカメラマンを残して、他のスタッフ達は寝に帰ってしまった。きのう借りたコピースタンドも返してきた。`今度こそ絶望だ…`と思われた。「しかし、まだ希望はある。我々に残された、たった一つの希望… 芸工大だ!」なんてわけにはいかないのだ。…もっども、もせえ一つたい間に合わんという訳でもない。明日の朝にフィルムを出しても、可能性はないでもない。その場合、明日の夕方5時にフィルムが仕上がれば直ちに編集、そして次の朝までに効果音と音楽の録音、それから昼までにアフレコと会場づくり…と、この通りできれば学祭最終日の午後だけ上映することができる。しかしこれはもう、最悪というより極悪の事態であった。編集機とか扱ったこともないし、400カットもある映画に効果音を入れるのがどれだけ時間を食うかわからんし、セリフを練習するヒマもない。だいたいがこんなにメツチャクチャ手を抜いて、人に見せられるだけのモンができる訳がないことは、考えただけでわかる。作らん方がまだましだよ…

そこへ横山が彼のコネで、昼の3時までにフィルムを現像所に持っていき

ばすぐに現像してくれる、という話をつけてきた。さっそく再び見えた僅かな希望も完全に消え失せた。

えーい! どーせはじめっから手抜きばかりで、マトモなんかできる訳がなよんや! もーこうなったら上映できさえずりや、どーでもええわい! ついに末期症状が現われた。

夕方5時、朝出したフィルムがあがったので、さっそく試写してみる。ありゃあ? 何やこのチカチカ、何か知らんがきれいやわあ…。そして撮影を1年生に任せて編集を始めた。慣れない手つきで細切れのフィルムがとびかった。どえらい時間がかかって、済んだのが午前2時だった。ゲーム! 先が思いやられるなア、面白いけど。音楽担当の新屋(シエンヤ! と呼んで)に編集済みのフィルム一物語の半分一をまわした。やあっと彼の出番だった。そうよね、一番かわいそうなのは彼なんよ。彼はこのために、ずっと前から波の音なんか生録したり、レコードを集めたり、オレたちの見えん所でいっぱい苦勞してくれてるんだよね。これじゃあ彼も、うかばれないよなあ…。彼らに仕事を任せた後、いつの間にかそのままオレは、寝てしまった。

2日(土)、学祭2日目の朝7時、ふと目がさめると新屋がまた映写機とカセットデッキをいじくっていた。あつ撮影は、と…一年生諸君が頑張っていた。すぐボタンタッチして、カメラが死によったのでもう一台のと切り換えて、撮影を始めた。残りはあと10数カットであった。わっせわっせと撮り進み、

間に合わせて作ったEND文字を撮って、ついに撮影は終了した。スタッフ一同、「やったあ！」と大拍手。すぐ横山が現像所へ飛んだ。その時、まさに9時55分だった。

ちょっと暇になったので、今日は使わない—使えない—上映会場でのセル展示会を1年生に頼み、オレはメシ食って、会場前に上映できんおわびの貼り紙をして、学祭を見て回った。今日アニメを見に来たお客もいるんだよな。くそ…。

午後5時、最後のフィルムができてきた！ 試写、あのチカチカが命とりだったがそんなことは言ってもらえない。即編集を始める。相変わらず時間くって、できたんが午前零時だった。きのうのフィルムとドッキングして、一人前のフィルムができた。さっそくサイレント上映会。「お—お—ドラマじゃ」と仕事の終わったオレは、新屋の顔色に気づけなかった。色黒な彼が顔面蒼白だった。今から朝の7時まで、これだけのフィルムを全部音入れできるだろうか…。オレは、今までの全作業のしわ寄せをくった彼の胸中を察し、息をのんだ。しかしこればかりはオレもどう仕様もない。彼らに全てを任すしかない、オレはねた。

「しいげちゃん、こら起きんかい!!!」と起こされた時、朝だった。6月3日(日)、学祭の最終日、朝7時。ついに新屋はやったのだった。充血した目をしばたきながら、みんなして会場へ向った。選ばれた声優たちも集まってきた。使い古した絵コンテコピーを配って、

アフレコが始まった。練習なしのぶっつけ本番であった。TVアニメの様にはいかず、一本のマイクを取り合いで録音だった。これが以外とはかどらず、1時からの上映時間が近づくに従って、マジみんなの気が立ってきた。セリフをトチっても、間をとり違えても、後もどりするヒマはなかった。暗がりの中で、怒鳴り合うばかりそしてついに画面に「HAPPY END」の文字！ 「うわい、やった」と肩をたたき合ったのが12時50分…。まさに上映開始の10分前だった。

こうして一応、アニメは完成し、上映され、学園祭は終わった。

“宇宙大侵略者、は今、オレの横の押し入れの中で眠っている。お前は、オレ達に15万円の赤字と1本のフィルムを残して去っていった。そしてアニメを作る本当の意味を、ちょっぴり教えてくれたのだった。

しかしオレは、まだまだお前を眠らしておく訳にはいかない。今度は時間制限なしのデス・マッチだ！ さあつ、目をさませ、動きだせ！

アニメ制作に際し、多額の援助をして下さった実行委員会の諸氏、無限の助言をしてくれた先輩の方々、そして何よりも最後の最後まで見捨てずに頑張ってくれたアニメにたずさわった全スタッフの人々に心から感謝いたします。本当にありがとう。

## 【編集後記】

MASH共同体とは、芸工大、画像設計学科2年の、暇で、物好きな男6人が集まって結成した、画期的な暇つぶし集団なのです。暇つぶしのつもりでやっていますが、この「MASH」をつくるのに、何日か取材し、なんぼか金を使い、そして、何日か徹夜しました。今回、江川に対して、あるいは、暴走族に対して、言いたい放題のことを書きまして、担当編集員はどんな反響があるかと、戦々恐々としております。もし、無事でありましたら、3号も出したいと思っております。

企画・製作……MASH共同体

印刷……大丸クイック・プリント

発行人……森 豊

昭和54年7月発行 ミニコミ誌「MASH」

御意見、御感想をお寄せ下さい。

☎ 830

久留米市荘島町15-10 森 豊 宛

